

### 博多湾鉄道沿線名勝案内 (1)

#### 海軍炭鉱・国鉄炭鉱の遺跡群 (26)

『博多湾鉄道沿線名勝案内』は大正十三年（一九二四）六月六日、博多湾鉄道汽船株式会社の発行です。博多湾鉄道（略して湾鉄）は本来は現在のJR香椎線（宇美・西戸崎間）を営業していた会社です。大正十三年当時の現況を同書より引用すると次の通りです。

◆営業線路及同航路  
一、西戸崎港を起点とし、北東方海の中道を縦貫し香椎村香椎駅にて鉄道省線【現在のJR鹿児島本線】に連絡し、南走して酒殿駅より志

免線―貨物専用線―を分岐し、粕屋炭山を横断して宇美町に到る延長十七哩（マイル）二分。  
二、福岡市に起り、粕屋、宗像二郡を貫通して鞍手郡福丸を過ぎ、直方經由飯塚町に到る。延長三十四哩五分。（大正十三年五月福岡市新博多・和白間【旧西鉄貝塚線】六哩七分 開通）  
三、宗像郡福岡町・同郡津屋崎間延長二哩四分の軌道。  
四、西戸崎港起点 呉港、徳山港、鎮海湾【現在、韓国慶尚南道】に到る延長四〇〇哩（カイリ）に亘

る近海航路。  
以上合計 鉄道営業哩十九哩九分 軌道営業哩二哩四分 船舶営業哩約四百哩  
◆車輛  
機関車十二輛 客車二十三輛 貨車廿五輛 炭車百五十七輛 汽船五隻  
西戸崎港を本拠に汽船を営業したので、博多湾鉄道汽船と称するようになりました。駅名は次の通りです。（西戸崎・宇美間）西戸崎・奈多・和白・香椎・土井・伊賀・酒殿・志

免・旅石・須恵・新原・宇美（新博多・和白間）新博多（千代鳥橋付近で市内電車と接続）・千代町・箱崎松原・名島・新香椎・唐原・和白【前の「二」の記述は、和白から宗像・鞍手を経て飯塚まで延長する計画があったという意味です】（福岡町・津屋崎間軌道）福岡停留所・宮司停留所・津屋崎停留所【當時は馬車鉄道で後に電化されます】



図1 「博多湾鉄道沿線名勝案内」表紙

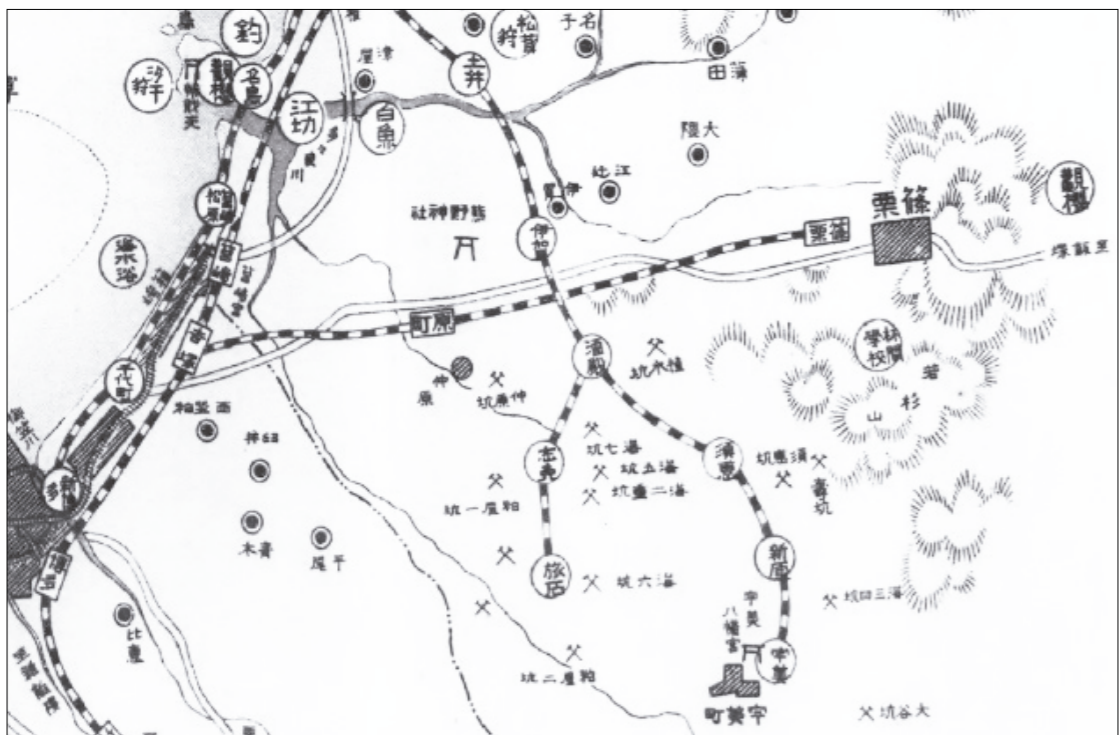


図2 営業路線図其一（部分）  
現在の香椎線と篠栗線の立体交差はありますが、長者原駅（開業一九八八年）はまだありません。